

高等学校 令和4年度（1学年用） 教科 情報 科目 情報Ⅰ

教科： 0 科目： 情報Ⅰ 単位数： 2 単位  
 対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 6 組

使用教科書：（ 図説 情報Ⅰ ）

- 教科 0 の目標：
- 【知識及び技能】 効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。
  - 【思考力、判断力、表現力等】 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。
  - 【学びに向かう力、人間性等】 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

科目 情報Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解し、技能を身に付けているとともに、情報社会と人との関わりについて理解している。	事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関りについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	序章 情報社会と私たち 【知識及び技能】 情報技術や情報社会について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 事例を考え、他者と意見交換し学びを深めようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 発問をしたり、自己評価を行い、自らを客観的に振り返る。	・既存の知識で情報社会、情報技術、情報社会における個人の責任について理解し、これからの深い学びに関心をもつことができるようにする。 【教科書、ワークシート、端末】	【知識・技能】 ワークシート 【思考・判断・表現】 発問、発表 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート Formsによる自己評価	○	○		4
	1章 情報社会と問題解決 【知識及び技能】 情報社会と問題解決、情報セキュリティについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 事例を考え、他者と意見交換し学びを深めようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 発問をしたり、自己評価を行い、自らを客観的に振り返る。	・「情報」や「問題」という言葉の定義を理解し問題を発見するとともに問題の明確化を行うことができるようにする。 ・問題解決について理解するとともに、様々な解決法をとおり適切に活用できるようにする。 【教科書、ワークシート、端末】	【知識・技能】 ワークシート 【思考・判断・表現】 発問、発表 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート Formsによる自己評価	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	2章 コミュニケーションと情報デザイン 【知識及び技能】 メディア、コミュニケーション、情報デザインについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 事例を考え、他者と意見交換し学びを深めようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 発問をしたり、自己評価を行い、自らを客観的に振り返る。	・メディアの特性、様々なコミュニケーション手段の方法、情報デザインの表現方法について学び、役立てようとする。 【教科書、ワークシート、端末】	【知識・技能】 ワークシート 【思考・判断・表現】 発問、発表 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート Formsによる自己評価	○	○	○	8
	3章 情報とコンピュータ 【知識及び技能】 情報の表現方法、計算法、拡張子等について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 事例を考え、他者と意見交換し学びを深めようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 発問をしたり、自己評価を行い、自らを客観的に振り返る。	・情報について学ぶとともに、情報の表現、アナログ、デジタルについて理解するとともに情報のデジタル化についても理解しようとしている。 【教科書、ワークシート、端末】	【知識・技能】 ワークシート 【思考・判断・表現】 発問、発表 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート Formsによる自己評価	○	○	○	6
定期考査			○	○		1	
2 学 期	4章 アルゴリズムとプログラミング 【知識及び技能】 アルゴリズムを理解し、プログラミングとの関係性を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 事例を考え、他者と意見交換し学びを深めようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 発問をしたり、自己評価を行い、自らを客観的に振り返る。	・アルゴリズムについて理解し、プログラミングの構造と紐づけて理解することができる。 【教科書、ワークシート、端末】	【知識・技能】 ワークシート 【思考・判断・表現】 発問、発表 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート Formsによる自己評価	○	○	○	6

子 期	5章 ネットワークと情報システム 【知識及び技能】 アルゴリズムを理解し、プログラミングとの 関係性を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 事例を考え、他者と意見交換し学び を深めようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 発問をしたり、自己評価を行い、自 らを客観的に振り返る。	・ネットワークの仕組みの全般に ついて理解している。情報システ ムのサービスや情報セキュリティ について理解している。 【教科書、ワークシート、端末】	【知識・技能】 ワークシート 【思考・判断・表現】 発問、発表 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート Formsによる自己評価	○	○	○	8	
	定期考査			○	○		1	
	<実習> オフィスソフトの活用 ・文書作成ソフトの活用 ・表計算ソフトの活用	・オフィスソフトの役割を理解 し、情報デザイン、データのまとめ 分析方法について理解するととも に、文書作成ソフト、表計算ソフ トの活用ができる。 【教科書、ワークシート、デスクトップ パソコン、端末】	【知識・技能】 ソフトウェアや機能について理解している 【思考・判断・表現】 与えられた課題について、自ら考え取り組む ことができる 【主体的に学習に取り組む態度】 Formsによる自己評価	○	○	○	14	
3 学 期	<実習> オフィスソフトの活用 ・プレゼンテーションソフトの活用	・オフィスソフトの役割を理解 し、プレゼンテーションについて 理解するとともに、プレゼンテー ションソフトを活用することがで きる。 【教科書、ワークシート、デスクトップ パソコン、端末】	【知識・技能】 ソフトウェアや機能について理解している 【思考・判断・表現】 与えられた課題について、自ら考え取り組む ことができる 【主体的に学習に取り組む態度】 Formsによる自己評価	○	○	○	5	
	<実習> プログラミング ・Scrachを活用したゲーム作り	・アルゴリズムとフローチャート、プ ログラミングについて理解すると ともに、プログラミングをとおし て論理的に学ぶことができる。 【教科書、ワークシート、デスクトップ パソコン、端末】	【知識・技能】 ソフトウェアや機能について理解している 【思考・判断・表現】 与えられた課題について、自ら考え取り組む ことができる 【主体的に学習に取り組む態度】 Formsによる自己評価	○	○	○	8	
							合計	70